

人材育成について

1 目指す職員像

- 職員一人ひとりの個性を尊重しながら、「強み」をさらに伸ばし、職員が意欲とやり甲斐を持って、その持てる能力を最大限に発揮することができるよう、効果的な人材育成を進めていくため、「滋賀県人材育成基本方針」の中で、目指す職員像を明示しています。

「滋賀への熱い思いと改革精神にあふれた自律型人材」

- ① 滋賀を愛し、地域の未来を創造する意欲にあふれた職員
- ② 改革精神を持ち、地域経営の視点で行動する職員
- ③ 使命感と目標をもって、自律的に行動し、自ら成長する職員

- 職階毎に求められる職務遂行上必要とされる基礎的な能力を明示。【別紙1】

2 人材育成に関する主な取り組み

職場研修(OJT)や政策研修センター等における職場外研修(Off-JT)により職員の能力開発、人材育成に取り組んでいます。

(1) 自己申告書「チャレンジ計画」を活用したOJTの推進

全職員を対象として、職員と所属長との日常の対話を通じて、明るい職場環境づくりや自己啓発に役立てるための「職員自己申告書」に「チャレンジ計画」の項目を設け、各職員の職務遂行を通じた自己実現に向けて指導、助言。

(2) 自律型人材育成制度の実施

職務遂行を通じた人材育成に組織的に取り組み、より一層効果的、効率的に人材育成を進めていくために、目標管理の手法を取り入れた「自律型人材育成制度」を実施。【別紙2】

平成17年度～ 課長・参事級の職員を対象に実施

平成18年度～ 課長・参事級、課長補佐級の職員を対象に実施

職員

- ・ 職員が日常の職務遂行の中で発揮している能力を職員と上司とが把握し、
- ・ その結果について双方が面談し、意見交換などを行うことにより、職員の「強み」や「弱み」をよりの確に把握し、
- ・ 上司は職員の育成や能力開発の支援に、職員は自己啓発に効果的につなげていく。

上司

双方向のコミュニケーション

(3) 政策研修センター研修の実施

職員の自己改革を支援し、政策形成能力など今後特に必要とされる能力と人権尊重などの基本的な資質の向上を図るため、次の研修を実施。

- ・階層別研修（新採職員～部長・次長級）（約950人）
- ・ブラッシュアップ研修（約540人）
滋賀が持つ「人の力」「自然の力」「地と知の力」を活かし、未来への変化を先読みしながら、柔軟な発想で課題解決に取り組むことができる職員の育成を目指す。

【平成25年度の主なブラッシュアップ研修科目】

（現場主義）

「消防学校体験入学～消防活動訓練を体験してみよう～」

（県民本位）

「たねやの心」(たねやグループ提供研修)

（対話能力）

「お客様対応を考える」(イオンリテール(株)提供研修)

（歴史をふまえた未来志向）

「今後の世界経済・日本の活力を展望する」(野村ホールディングス(株)提供研修)

（チャレンジ精神）

「やまんばの会の活動に学ぶ～里山に暮らしを取り戻そう」(NPO法人やまんばの会)

（実務能力）

「やさしく学ぶ金融政策と京滋地区の経済」(日本銀行京都支店提供研修)

「企業決算の見方」((株)関西アーバン銀行提供研修)

- ・職場支援研修（人材育成指導員、新任グループリーダーなどへの研修）
- ・指導者養成研修（人権、接遇）
- ・特別研修（関西広域連合職員研修など）

(4) 国・市町等への派遣研修の実施

分権型社会の実現に向けて求められる人材を育成するため、国、府県、市町などへ研修として職員を派遣。

【平成25年度】

（国） 4人

総務省(自治行政局地域自立応援課人材力活性化・連携交流室)

文部科学省(初等中等教育局財務課)

厚生労働省(雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課)

国土交通省(都市局都市政策課大都市戦略企画室)

（府県交流） 4人

静岡県(危機管理部危機情報課)

岐阜県(県土整備部道路建設課)

京都府(商工労働観光部染織・工芸課)

大阪府(都市整備部交通道路室道路環境課)

（いきいき新自治交流） 2人

栗東市(健康福祉部子育て応援課)

東近江市(産業振興部観光物産課)

（保健師交流） 1人

大津市(健康保険部比叡すこやか相談所)

（自治大学校） 2人

第1部課程、第1・2部特別課程へ各1人

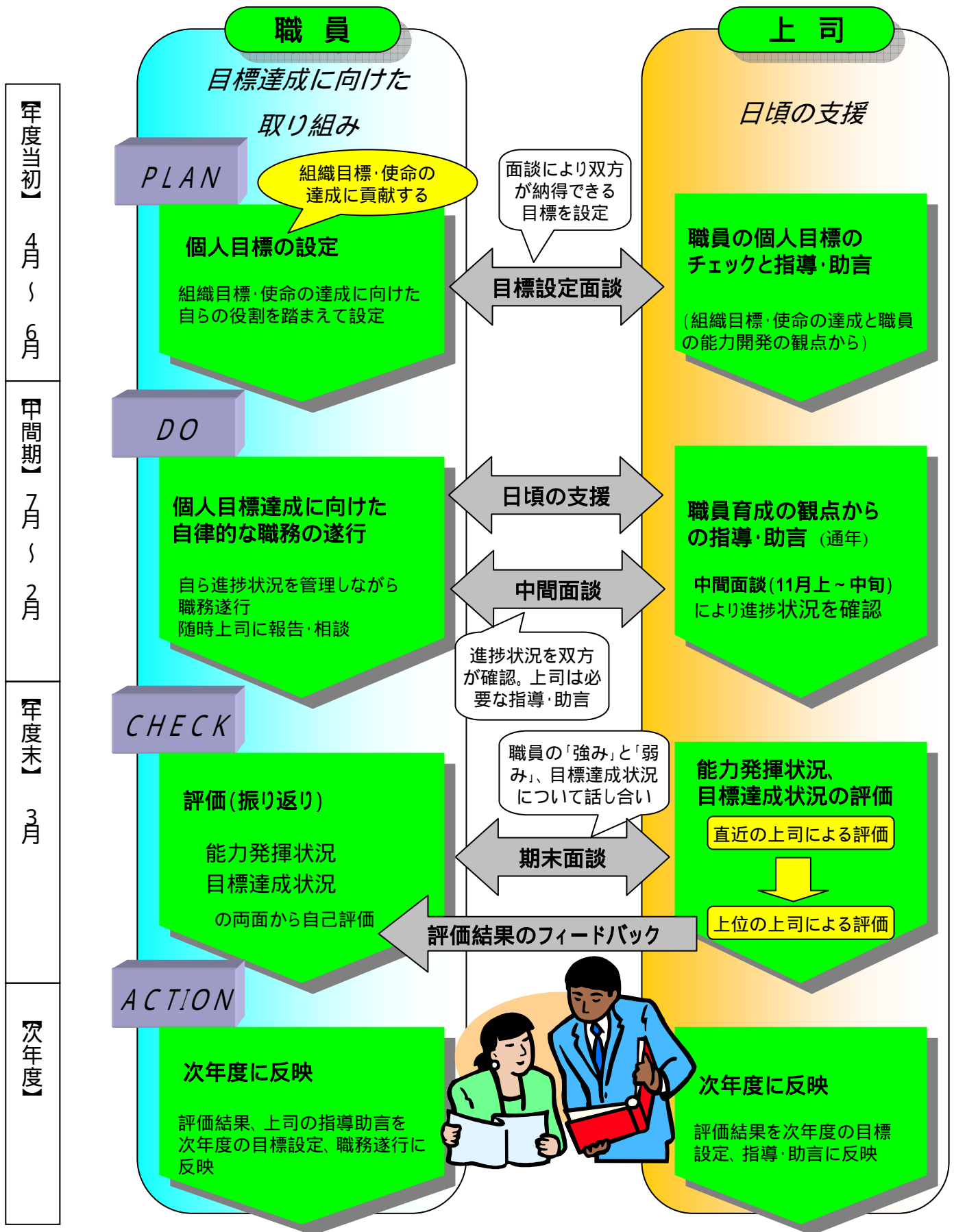
（政策研究大学院大学） 2人

「防災・復興・危機管理プログラム」、「医療政策コース」へ各1人

※ 上記以外に県内市町や国等へ職員を派遣。【別紙3】

【別紙 1】 階層毎に求められる職務遂行上必要とされる基礎的能力

階層区分		求められる能力の比重	
幹部職層	部長級	<p>大局的課題解決能力 (コンセプトual・スキル)</p> <p>大局的・長期的視点から施策や組織の課題を認識し、解決策を提示することができる能力</p>	
	次長級		
所属長層	課長級	<p>(企画・計画力) 使命や目標の達成に向けて、効果的な手段、方法を見出し、段取りを組み立てる能力</p>	
		<p>(判断力) 状況を把握し、問題の本質を捉え、適時、適切に対応する能力</p>	
	参事級	<p>(実行力) 目標の達成に向けて積極的に行動する能力</p> <p>(執行力) 職務を正確かつ迅速に遂行する能力</p> <p>(情報収集・活用力) 職務に必要な情報を収集、分析、活用する能力</p>	
GL層	課長補佐級	<p>(統率力) リーダーシップを発揮し、組織をまとめ組織の総合力を高めていく能力</p> <p>(指導力) 自分の知識や経験に基づき、後輩に業務の説明や具体的なアドバイスができる能力</p> <p>(人材育成力) 職員の能力や個性を把握し、職員に適した方法でその資質を向上させる能力</p>	
		<p>(協調性) 他の職員とともに目標の達成に取り組んでいこうとする能力</p> <p>(折衝・調整力) 自分の考えをわかりやすく相手に伝え、説得し、納得させる能力</p>	
グループ員層	主幹級	<p>基礎的技術力 (テクニカル・スキル)</p> <p>担当する業務を遂行していく上で必要な基礎的知識・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 滋賀県に関する知識 ・ 環境に関する知識 ・ 基礎統計や法令の専門的知識 ・ 論理的思考力 ・ 文書作成能力 ・ 対外的説明能力 ・ IT活用能力 ・ 国際感覚、語学力 	
	副主幹級		
	主査級		
	主任主事・主事級		



【別紙 3】

1 県内市町への職員派遣の状況（平成 25 年度）

（大津市）	3人	健康保険部保健所長 健康保険部保健所保健予防課長 動物愛護センター副主幹
（長浜市）	1人	産業経済部理事兼森林整備課長
（草津市）	1人	都市建設部副部長
（守山市）	1人	政策調整部長
（甲賀市）	3人	総務部長 産業経済部次長 教育委員会事務局歴史文化財課課長補佐
（湖南市）	1人	政策調整部企画調整課長
（東近江市）	1人	産業振興部農村整備課参事
（米原市）	2人	経済環境部林務課長 土木部理事
（高島市）	1人	政策部長
（竜王町）	2人	政策推進課参事兼企業誘致対策室長 工業団地推進課長
（多賀町）	1人	産業環境課参事
		計 17人

2 国等への職員派遣の状況（平成 25 年度）

（総務省）	2人	（自治行政局選挙部、地方公務員災害補償基金）
（財務省）	1人	（近畿財務局理財部）
（厚生労働省）	2人	（医政局指導課、医薬食品局審査管理課）
（経済産業省）	1人	（近畿経済産業局産学官連携推進室）
（国土交通省）	1人	（近畿地方整備局地域道路課）
（環境省）	2人	（水・大気環境局水環境課、同局放射性物質汚染対策担当参事官室）
		計 9人

3 東日本大震災関連の職員派遣の状況（平成 25 年度）

（福島県）	9人	〔 化学：1人、農業：1人、農業土木：3人、 土木：3人、建築：1人 〕
（岩手県）	1人	